

特長

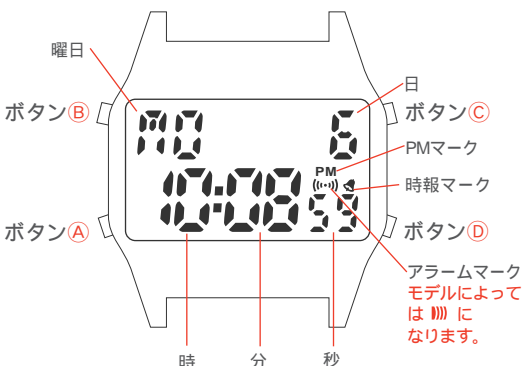
この時計は、時刻・カレンダー表示機能(時、分、秒、日、曜日)のほかに以下の機能を備えています。

- フルオートカレンダー機能
うるう年の2月29日もふくめ、月末のカレンダー修正の必要がありません。(1998年~2048年)
- アラーム機能
1日に1回鳴る、アラームの設定ができます。時報も設定できます。サウンドデモンストレーションができます。
- ストップウォッチ機能
99時間59分59秒まで計測できます。60分までは1/100秒単位で計測ができます。スプリット機能で、途中時間を計ることができます。

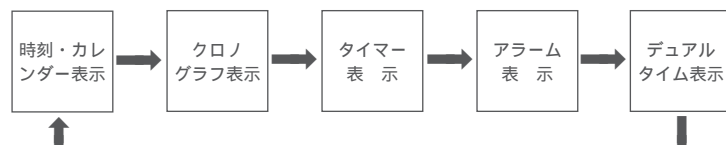
- 12/24時間制表示切り替え
12時間制/24時間制の表示切替ができます。
- タイマー機能
1分単位で、最高99時間59分まで設定できます。
- デュアルタイム機能
異なる1地域の時刻を設定・表示することができます。
- 内部照明機能
ボタン(B)を押すと内部照明が点灯します。約4秒間の残照式です。LED(Light-Emitting Diode:発光ダイオード)を利用した発光方式です。

サウンドデモンストレーション...アラーム音を試し聴きできる機能のことです。

各部の名称とはたらき(ボタンはどのような順序で押しても構いません。)



どのボタンも、どの表示でもアラームの鳴り止めになります。ボタン(A)を押すごとに次の順序で切り替わります。時刻・カレンダー表示に戻るとき、確認音が鳴ります。

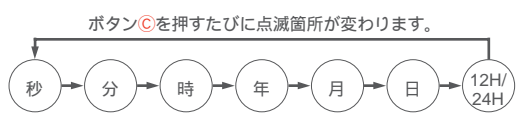


それぞれの表示で、ボタン(A)を1~2秒間押し続けるとそれぞれの表示の合わせになります。合わせ状態でボタン(A)を押すと各表示に戻ります。(それぞれ確認音が鳴ります。)

画面表示はモデルによっては異なる場合もあります。

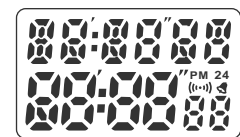
時刻・カレンダーの合わせかた

- ボタン(A)を押して時刻・カレンダー表示にしてください。
- ボタン(A)を1~2秒間押し続けて時刻・カレンダー合わせにしてください。(秒表示が点滅します。)
この状態で1~2分間操作をしないと時刻・カレンダー表示に戻ります。
- ボタン(C)を押して、合わせたい箇所を点滅させます。
- ボタン(D)を押して、合わせます。ボタン(D)を1回押すごとに点滅している箇所の数字が1つずつ進みます。
- 合わせ終わったら、ボタン(A)を押して時刻・カレンダー表示に戻してください。

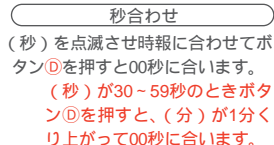


ボタン(D)を押すと点滅しているところの数字が1つずつ進みます。(押し続けると早く進みます。)12H/24HRが点滅している場合、12時間制表示と24時間制表示を切り替えます。

時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタン(C)とボタン(D)が同時に押された状態です。その場合は、(A)、(C)、(D)いずれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダー表示」にもどしてください。つぎにあらためて、上記の①から合わせ直してください。

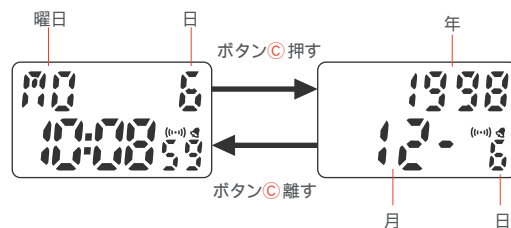


全点灯表示



カレンダー表示の使いかた

- ボタン(A)を押して、時刻・カレンダー表示にしてください。この状態では、曜日と日付が表示されます。
- ボタン(C)を押している間、年、月、日が表示されます。



12時間制と24時間制の切り替え

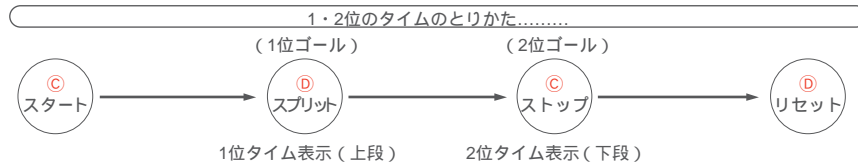
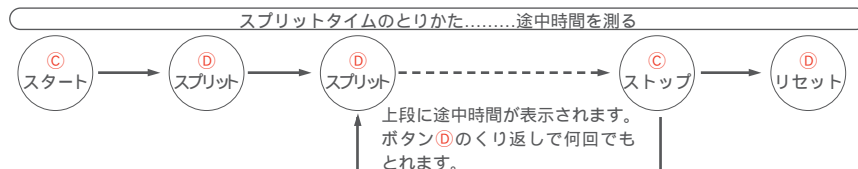
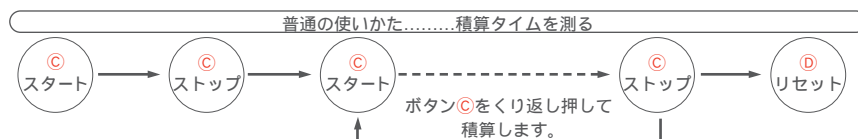
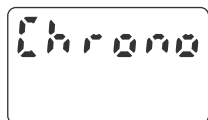
- ボタン(A)を押して時刻・カレンダー表示にしてください。
- ボタン(A)を1~2秒間押し続けて時刻・カレンダー合わせにしてください。(秒表示が点滅します。)
1~2分間操作をしないと時刻・カレンダー表示にもどります。
- ボタン(C)を、24HRまたは12HRの箇所が点滅するまで押します。
- ボタン(D)を押して切り替えます。
- 合わせ終わったら、ボタン(A)を押して時刻・カレンダー表示にもどしてください。

ストップウォッチの使いかた

- 計測時間が、60分までは1/100秒単位で、それ以降は1秒単位で計測表示します。最大計測時間は、99時間59分59秒です。
- 100時間を計測すると、表示が00秒に戻ります。

以下の各操作を行うときは確認音が鳴ります。

- ボタン(A)を押して、クロノグラフ表示にしてください。(Chronoの表示がでます。)
- 使う前に00秒にもどしてください。(ボタン(D)でリセット)
ストップウォッチが動いている時は...ボタン(C)を押して表示をとめ、ボタン(D)でリセット
ストップウォッチがとまっている時は...ボタン(D)でリセット
- 長い時間を測るときは、スタート後、時刻・カレンダー表示にしておくことで誤動作を防ぐことができます。



アラームの使いかた

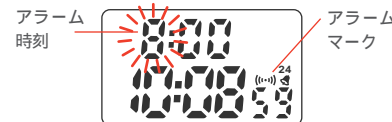
1日に1回鳴るアラームが設定できます。(24時間に1回鳴ります。)下段に時刻、上段にアラーム時刻が表示されます。

アラーム時刻の合わせかた

- ボタン(A)を押してアラーム表示にしてください。(ALARMの表示がでます。)

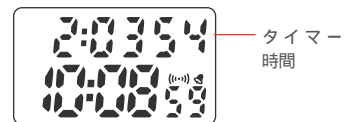


- ボタン(A)を1~2秒押し続けてアラーム時刻合わせにしてください。(時)が点滅します。(この状態で1~2分間操作をしないと自動的にアラーム表示にもどります。)



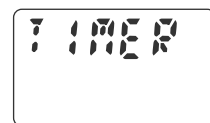
タイマーの使いかた

上段にタイマー時間、下段に時刻が表示されます。1分単位で、99時間59分までセットできます。1度セットしたタイマー時間は何度でも呼び出して使えます。計測時間(残時間)は1秒単位で表示します。



タイマー時刻の合わせかた

- ボタン(A)を押してタイマー表示にしてください。(TIMERの表示がでます。)
- タイマーが使用中、または途中でストップしている場合は、プリセットして下さい。
- ボタン(A)を1~2秒押し続けて、タイマー時間合わせにしてください。(時)が点滅します。

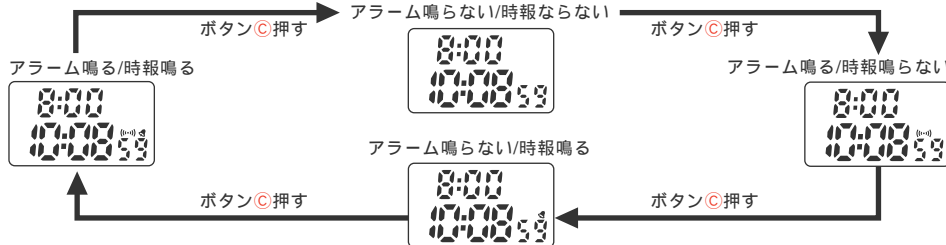


1~2秒間押し続けて下さい。押し続けている間アラーム音が鳴ります。この操作をした後は、アラームマークと時報マークの状態が変わりますのでアラームの鳴る/鳴らないの設定方法を参照して元の状態に戻してください。

時合わせのとき、午前(AM)午後(PM)をよく確認してください。

アラーム・時報の鳴る/鳴らないの設定方法

アラーム表示でボタン(C)を押すと次の順序で設定が変わります。それにしたいが、アラームマーク・時報マークが点いたり消えたりしてアラーム音・時報のON/OFFを表示します。



時刻・カレンダー表示の状態の時、ボタン(D)を押している間、アラーム時刻が上段に表示されます。(アラームがセットされていない時は、表示されません)

デュアルタイムの使いかた

タイマーの使いかた
ボタン(C)を押すたびに、スタート/ストップができます。(この操作は何回でもできます。)残り3、2、1秒で報音し、20秒間タイマー終了音が鳴り続けます。鳴っているタイマー終了音を途中で止めるには、ボタン(A)、(B)、(C)、(D)いずれかを押してください。どの表示でもこの操作は可能です。

オートカウントアップ機能
タイマー終了後、自動的に1秒単位で1時間までの計測が始まります。ボタン(C)でスタート/ストップができます。

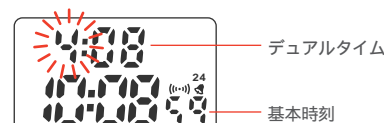
タイマー/オートカウントアップがストップした状態でボタン(D)を押すと、プリセットされます。1度設定した時間は修正するまでそのまま保持され、何度でも呼び出して使うことができます。

時刻の異なるもう一つの地域をセットできます。上段にデュアルタイム(もう一つの地域の時刻)が表示されます。

デュアルタイム時刻の合わせかた
①ボタン(A)を押してデュアルタイム表示にしてください。(dUALの表示がでます。)



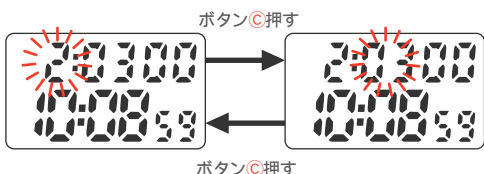
- ボタン(A)を1~2秒押し続けて、デュアルタイム合わせにしてください。(時)が点滅します。
この状態で1~2分間操作をしないと自動的にデュアルタイム表示に戻ります。



- ボタン(C)を押すごとに、点滅する箇所が変わります。(時) (分) (時)...の順序で点滅箇所が変わります。
- ボタン(D)を押して合わせます。1回押すごとに点滅しているところの数字が1つずつ進みます。押し続けると早く進みます。
- 合わせ終わったら、ボタン(A)を押してデュアルタイム表示に戻してください。

この状態で1~2分間操作をしないと自動的にタイマー表示に戻ります。

- ボタン(C)を押すごとに、点滅する箇所が変わります。(時) (分) (時)...の順序で点滅箇所が変わります。



- ボタン(D)を押して合わせます。1回押すごとに点滅しているところの数字が1つずつ進みます。押し続けると早く進みます。
- 合わせ終わったら、ボタン(A)を押してタイマー表示に戻してください。